

建設系廃プラデータカード

L3	PC-01	名称	透明パイプ
▶耐熱性・耐衝撃性・強靱性・寸法精度に優れるポリカーボネート樹脂を使った透明のパイプ。 ▶アクリル樹脂の透明パイプもあるが、アクリルは割れやすいため、容易に見分けが付く。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化	
PC	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	■ 無			★	★	★	☆
			□ 設備	□ 袋状	■ 端材・余剰材	■ 少						
			□ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	■ 多						
			□ 土木	□ 板状	■ 使用済廃材 (養生材・容器等)							
			□ 解体	■ 管(筒)状								
			□ その他	□ 成型品								

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事 ●
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事 ●
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
 資源循環
 望ましい

★: 該当
 ☆: 条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

【再資源化等】

▶汚れの少ないことを条件に、高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。(但し、硬質プラは施設によっては適さないことがあるので要相談。)

建設系廃プラデータカード

L3	PC-02	名称	透明板(非塩ビ)
▶耐熱性・耐衝撃性・光線透過・強靱性に優れるポリカーボネートはテラス、カーポート、エントランス、アーケード等の屋根材に使用される。 ▶透明板市場では二番目にPVC(ポリ塩化ビニル)材質が多く、一番安価かつアクリルより割れづらい美点あり。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法							
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ			再資源化等	再資源化				
PC	硬質	熱可塑性	■ 新築	□ 紐状・網状	□ 梱包材・緩衝材	■ 無	埋立処分	単純焼却	再熱利用	原燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル	
□ 設備			□ 袋状	■ 端材・余剰材	■ 無									
PVC	質		■ 改修	□ シート・フィルム状	□ 仮設材	■ 少	使用済廃材 (養生材・容器等)	多	★	★	★	☆	☆	★
			□ 土木	■ 板状										
			■ 解体	□ 管(筒)状										
			□ その他	□ 成型品										

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事 ●
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事 ●
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましく
資源循環
望ましい

★: 該当
☆: 条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【再資源化等】 ▶汚れの少ないことを条件に、高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。(但し、硬質プラは施設によっては適さないことがあるので要相談。)

建設系廃プラデータカード

L3	PC-03	名称	波板(非塩ビ) (PC)
▶屋根材や壁材として使用される波形に成形された長さ1m弱、横70cm弱の板。 ▶塩ビ樹脂(PVC)製は割れやすいが、ポリカーボネート樹脂(PC)製は耐衝撃性に優れ割れにくい。(但し、経年劣化は別) ▶透明な素材はPC、やや茶色系はPVC。			

廃棄物(樹脂)情報			発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分	工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	再資源化等		再資源化	
									燃料化	高度熱回収	ケミカル	マテリアル
PC	硬質	熱可塑性	☒ 新築	☐ 紐状・網状	☐ 梱包材・緩衝材	☒ 無						
PVC			☐ 設備	☐ 袋状	☒ 端材・余剰材	☐ 少						
			☒ 改修	☐ シート・フィルム状	☐ 仮設材	☐ 多						
			☒ 土木	☐ 板状	☒ 使用済廃材 (養生材・容器等)							
			☒ 解体	☐ 管(筒)状								
			☐ その他	☐ 成型品			★	★	★	☆	☆	
									★	★	★	

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事 ●
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	断熱工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事 ●
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工 ●



望ましく
資源循環
望ましい

★:該当
☆:条件付きで該当



排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など

【再資源化等】
 ▶塩ビ樹脂でないこと、汚れの少ないことを条件に、高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化の原料として利用可能。
 (但し、硬質プラは施設によっては適さないことがあるので要相談。)

建設系廃プラデータカード

L3	PC-04	名称	ヘルメット
▶非塩ビのものには、PC、ABS、PE、FRPの4つの樹脂製がある。 ▶建設現場では耐久性に優れたPC製が多いが、安全帽や作業用ヘルメットには光沢のあるPC製が多い。 ▶多くが熱可塑性樹脂だが、FRPは熱硬化性が大半。 ▶廃棄の際は、ヘルメット中の発泡スチロールやあご紐を除く必要あり。			

廃棄物(樹脂)情報				発生情報				処分方法					
樹脂区分	分類	熱区分		工事分類	形状区分	排出区分	汚れ	埋立処分	単純焼却	排熱利用	再資源化等	再資源化	
PC	ABS	硬質	熱硬化性	☒ 新築 ☒ 設備 ☒ 改修 ☒ 土木 ☒ 解体 ☒ その他	☐ 紐状・網状 ☐ 袋状 ☐ シート・フィルム状 ☐ 板状 ☐ 管(筒)状 ☒ 成型品	☐ 梱包材・緩衝材 ☐ 端材・余剰材 ☐ 仮設材 ☒ 使用済廃材 (養生材・容器等)	☐ 無 ☒ 少 ☐ 多	★	☆	☆	☆	☆	☆
PE	FRP	質	熱硬化性										

No.	発生工事種別(新築・改修・設備)	No.	発生工事種別(新築・改修・設備)
1	土工	22	木工
2	杭・山留工事	23	壁仕上げ工事
3	鉄骨工事	24	床仕上げ工事
4	床板工事(デッキプレート)	25	石工事
5	鉄筋工事	26	タイル工事
6	型枠工事	27	流し台・システムトイレ取付工事
7	コンクリート工事	28	ガラス工事
8	ACW工事	29	塗装工事
9	PC工事	30	屋根・樋工事
10	ガラス工事	31	機械駐車場設備工事
11	シール工事	32	昇降工事
12	ALC工事	33	塗装工事
13	耐火ボード工事	34	外構工事
14	ラス下地工事	35	クリーニング工事
15	耐火吹き付け工事	36	造園工事
16	グラスウール貼工事	37	電気工事
17	発泡ウレタン工事	38	衛生工事
18	防水工事	39	空調工事
19	左官工事	40	共通仮設工事
20	金属工事	41	直接仮設工事
21	建具工事	42	土工



望ましい
 資源循環
 望ましい

★:該当
 ☆:条件付きで該当

現場搬入製品時の荷姿など

排出抑制・再資源化等の実施で留意すべき点など
【マテリアルリサイクル】 ▶FRP製を除き、量が集まればマテリアルリサイクルが可能(少量不可)。下取りをして再生しているメーカーもある。 【再資源化等】 ▶FRP製を除き、高度熱回収(RPF・フラフ)、燃料化、排熱利用の原料として利用可能。(但し、硬質プラは施設によっては適さないことがあるので要相談。) 【単純焼却】 ▶FRP製を除き、単純焼却施設での受入可能。